

日本堆積学会 2016年福岡大会 プログラム

<日 時> 2016年3月4日(金)～8日(火)

4日(金) プレ巡検「長崎県西海市・七釜砂岩層に見られる重力流堆積物とその再堆積」

5日(土)：個人講演，総会議事，懇親会

6日(日)：個人講演，基調講演，ミニシンポジウム，

最優秀口頭・ポスター発表賞授賞式，堆積学トーク・トーク

7日(月)～8日(火)：ショートコース「DIY水槽実験：水理学の基礎から二次元平衡河川まで」

<会 場> 福岡大学理学部18号館ほか

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/aboutus/facilities/map.html>

3月4日(金)

<プレ巡検> 「長崎県西海市・七釜砂岩層に見られる重力流堆積物とその再堆積」

集合：博多駅筑紫口大型バス駐車場 8:30 解散：博多駅筑紫口 18:30予定

講師：石原与四郎氏(福岡大学)ほか

3月7日(月)～8日(火)

<ショートコース> 「DIY水槽実験：水理学の基礎から二次元平衡河川まで」

場所・日時：福岡大学理学部18号館1階実験室 8:30～

講師：武藤鉄司氏(長崎大学)

3月5日(土)

会場：福岡大学理学部 18号館 建物への入館は08:00から可能です

9:10-9:15 会長挨拶 武藤鉄司

<口頭発表の部>

【座長：高清水康博】

- 01 9:15-9:30 陸上の津波堆積物の粒度・層厚分布を用いた津波の水理条件の逆解析法
阿部朋弥・成瀬 元(京都大)
- 02 9:30-9:45 電気伝導度による津波堆積物の認定手法の有用性
加瀬善洋・川上源太郎・仁科健二(道総研 地質研)・
ト部厚志・高清水康博(新潟大)・林 圭一(道総研 地質研)
- 03 9:45-10:00 帯磁率が低い古津波堆積物における磁気異方性的特徴:北海道霧多布湿原の
例
昆 周作・中村教博(東北大)・西村裕一(北海道大)・後藤和久(東北大)・
菅原大助(ふじのくに地球環境史ミュージアム)
・ 山田昌樹(筑波大)
- 04 10:00-10:15 津波堆積物中に見られる生物攪拌構造
清家弘治・白井厚太郎・杉原奈央子(東大大海研)

休憩 (10:15-10:30)

【座長：新井和乃】

- 05 10:30-10:45 南相馬市小高区の津波堆積物の磁気ファブリックと粒子ファブリック
高清水康博・ト部厚志・羽鳥祐香(新潟大)・
加瀬善洋・林 圭一(道総研 地質研)
- 06 10:45-11:00 過去 8500 年間に別府湾海底活断層で発生した津波の履歴
山田昌樹・藤野滋弘・千葉 崇(筑波大)
- 07 11:00-11:15 2011年東北沖津波による古津波堆積物の侵食
篠崎鉄哉(筑波大)・後藤和久(東北大)・藤野滋弘(筑波大)・
菅原大助(ふじのくに地球環境史ミュージアム)・
千葉 崇(筑波大)
- 08 11:15-11:30 和歌山県日高町における津波浸水履歴の復元
竹田大輔・藤野滋弘・千葉 崇・篠崎鉄哉・山田昌樹(筑波大)

休憩 (11:30-11:35)

【座長：太田 亨】

<ポスター発表ショートトーク： 奇数番号の講演> 11:35-11:57

1件あたりの講演は2分以内とします。

昼休み (11:57-13:00)

<ポスター発表の部> 13:00-14:10

3月5日(土) 8:30より掲示できます。3月6日(日) 17:00までに撤収をお願いします。

- P1 日本海溝陸側斜面域の堆積物の特徴 -NT15-07 航海報告-
新井和乃・金松敏也・吉河秀郎・富士原敏也(海洋研究開発機構)
- P3 更新統魚沼層群における汎世界的海水準変動に支配された第3オーダー堆積シーケンスとシーケンス層序
松田和久・保柳康一(信州大)
- P5 ネパール・カトマンズ盆地で見つかったシルト質堆積物中のサイスマイト
酒井哲弥(島根大)・ガジュレル アナンタ(トリブバン大 ネパール)
- P7 Comparison of sedimentological and geochemical variations in two differing river systems of the Neogene Siwalik Group, Nepal Himalaya
Adhikari, S.K・ Sakai, T.・Roser, B.P.(Shimane Univ.)・
Sigdel A.(Nepal Electricity Authority)
- P9 岐阜県荘川地域に分布する手取層群の堆積相と有機炭素分析に基づく堆積環境の復元
上村真優子・保柳康一(信州大)
- P11 後の雨で変質した木津川高水敷の砂床形
坂本隆彦(同志社大)
- P13 下北半島芦崎の砂嘴堆積物に関する予察的研究
鎌田耕太郎(弘前大)
- P15 内湾海底コア中のイベント層の形成要因、津波数値シミュレーションによる巨大津波の可能性の検討 —北海道噴火湾の事例(予察)—
仁科健二(道総研 地質研)
- P17 洞窟遺跡に認められる津波堆積物—白保竿根田原洞穴遺跡 II 層—
石原与四郎(福岡大)・吉村和久(九州大 RI センター)・佐々木 華・
大西由梨(福岡大)・七山 太(産総研)・山内平三郎(沖縄鍾乳洞協会)・
島袋綾野(石垣市教育委員会)・仲座久宜(沖縄県立埋蔵文化財センター)
- P19 写真画像を用いた3D砂粒子ファブリックの計測
宮田雄一郎・花本夏輝(山口大)
- P21 石筍年縞からの新たな古環境情報抽出の試み：成長シミュレーションによるアプローチ
大西由梨・佐々木 華・石原与四郎(福岡大)・
吉村和久(九州大 RI センター)

<口頭発表の部>

【座長：加瀬善洋】

- 09 14:10-14:25 2014年広島土石流災害地に見られた、新・旧の土石流堆積物が示す二つの研究課題
志岐常正(国土研)・越智秀二(比治山中・高校)
- 010 14:25-14:40 異なる植生下における鍾乳石形成過程
鹿島美香・嶋田 純・松田博貴(熊本大)
- 011 14:40-14:55 オーストラリア北東部海岸における浜堤形成:サイクロンによる浸水と風成作用
田村 亨(産総研)・Nicholas, W.A.・Brooke, B.(Geoscience Australia)・Oliver, T.S.N.(ウロンゴン大)
- 012 14:55-15:10 有明海干潟における堆積環境とアサリ産出との関係
市原季彦(復建調査設計(株))、下山正一(佐賀大)
- 013 15:10-15:25 越波による砂嘴の破壊と復元:伊勢湾南西部櫛田川河口の例
中条武司(大阪自然史博)・趙 哲済・小倉徹也(大阪文化財研)

休憩 (15:25-15:40)

【座長：山田昌樹】

- 014 15:40-15:55 芦屋層群のストームベッドと mid-Oligocene の気候変動記録
隈 隆成・坂井 卓(九州大)
- 015 15:55-16:10 九十九里平野下の埋没谷地形
小松原純子(産総研)
- 016 16:10-16:25 紀伊半島牟婁付加シーケンスの後背地についての一考察
別所孝範(大阪市大)
- 017 16:25-16:40 赤色チャートの生痕化石の問題
角和善隆(明治大)
- 018 16:40-16:55 Sr-Nd-Pb 同位体比による深海堆積作用毎の供給源推定
齋藤 有(地球研)

<総会> 17:00-18:00

<懇親会> 18:10-20:00 福岡大学中央図書館 1F

3月6日(日)

<口頭発表の部>

【座長：齋藤 有】

- 019 9:00-9:15 メタンハイドレートを含むセディメントウェーブの貯留層性状
小松侑平・小寺貴士・藤井哲哉(JOGMEC)
- 020 9:15-9:30 半遠洋性堆積物のバイオマーカーおよびケロジェン組成に記録された混濁流
の影響：房総半島下部更新統黄和田層の検討
風呂田郷史・盛 貴瑛・沢田 健(北大)・黒澤志保・伊藤 慎(千葉大)
- 021 9:30-9:45 三次元定量的サイスミック地形学手法による海底扇状地チャネルの分布・形
状・蛇行度の検討：下北沖第四系海底扇状地の例
高野 修・西村瑞恵(石油資源)
- 022 9:45-10:00 北海道東部地域に見られる屈曲構造の形成時期について
片桐貴浩・成瀬 元・石川尚人・大林秀行・平田岳史・高塚紘太(京都大)

休憩 (10:00-10:15)

【座長：小松侑平】

- 023 10:15-10:30 日本海溝域の海底斜面崩壊とその地層記録
池原 研・宇佐見和子(産総研)・金松敏也・新井和乃・中村恭之・
小平秀一(JAMSTEC)・Strasser, M. (Innsbruck Univ.)
- 024 10:30-10:45 タービダイト粒度分布の空間変化：房総半島鮮新統清澄層の単層解析
中尾健人・成瀬 元(京都大)
- 025 10:45-11:00 サージ的混濁流によるサイクリックステップの形成についての実験的研究
庄境大貴・横川美和(大工大)
- 026 11:00-11:15 氷上のステップ地形の発達：理論解析とアナログ実験の比較
横川美和(大工大)・泉 典洋(北大)・内藤健介・
Parkar, G. (イリノイ大学)・山田朋人(北大)・Greve, R. (北大)
- 027 11:15-11:30 乱流域の流水によって氷上に形成される界面波
泉 典洋(北大)・横川美和(大工大)・角田堯史(北大)・石黒友紀(北海道庁)

【座長：横川美和】

<ポスター発表ショートトーク： 偶数番号の講演> 11:30-11:50

1件あたりの講演は2分以内とします。

昼休み (11:50-12:50)

<ポスター発表の部> 12:50-14:00

3月5日(土) 8:30より掲示できます。3月6日(日) 17:00までに撤収をお願いします。

- P2 大阪堆積盆地の沖積層にみる堆積物の空間分布の変遷
糸本夏実・増田富士雄(同志社大)
- P4 深海底で形成された塊状砂岩の堆積形態と内部構造：房総半島下部更新統梅ヶ瀬層上部を例に
小田陽平・伊藤 慎(千葉大)
- P6 福島県いわき市上遠野地域に分布する古第三系～新第三系の堆積相
橋本雄介・安藤寿男(茨城大)
- P8 地震探査断面とコア記載対比に基づく海水準変動解析—ニュージーランドカンタベリー堆積盆地における解析例—
角張友律・保柳康一(信州大)
- P10 北東インド・スィンブーム地塊に分布する前期原生代の未固結変形構造
太田 亨(早稲田大)
- P12 矢作川蛇行州のGPR探査からみる表面地形と内部構造の関係
岡崎浩子(千葉中央博)・郭 栄珠(土木研)・田村 亨(産総研)
- P14 福島県南相馬市小高川下流域における3.11津波堆積物の堆積状況と層相変化
小倉徹也(大阪文化財研)・中条武司(大阪自然史博)
- P16 水槽実験による海底の傾斜変換部における津波起源混濁流の発生
山本大貴・増田富士雄(同志社大)
- P18 年縞の自動解析の利点と課題
佐々木 華・石原与四郎(福岡大)
- P20 津波堆積物逆解析へ向けたフォワードモデルの開発
成瀬 元・阿部朋弥(京都大)

<ミニシンポジウム> 14:00-17:05

趣旨説明 14:00-14:05 松田博貴(熊本大)・石原与四郎(福岡大)

【座長：松田博貴】

OS1 14:05-14:50 【基調講演】カルスト地域の水循環における化学的過程と鍾乳石に保存される古環境情報

吉村和久(九州大 RI センター)

【座長：狩野彰宏】

OS2 14:50-15:15 炭酸塩堆積物の物理的堆積作用

松田博貴(熊本大)

OS3 15:15-15:40 造礁生物の進化と礁成炭酸塩岩の形成

中澤 努(産総研)・上野勝美(福岡大)

休憩 (15:40-15:50)

【座長：中澤 努】

OS4 15:50-16:15 微生物岩の炭酸塩堆積学

白石史人(広島大)

OS5 16:15-16:40 メタンフラックス増加とそれに伴う間隙水の化学組成の変化を記録している上越沖メタンシープサイトのメタン由来炭酸塩：炭素同位体比と，Mn，Ba，微量元素含有量の変化

蛭田明宏・松本 良(明治大)

【座長：松田博貴】

OS6 16:40-17:05 炭酸塩岩から読む新原生代後期の大規模変動

狩野彰宏(九州大)

<事務連絡> 17:10-17:20

<最優秀口頭発表賞・最優秀ポスター賞授賞式> 17:20-17:35

<堆積学トーク・トーク> 17:45-19:00

会場：18号館2階205実験室

注意事項

<口頭発表>

*口頭発表は発表12分，質疑応答3分です。発表時間を厳守して下さい。

*口頭発表は液晶プロジェクターの使用を標準とします。会場でパソコン(Windows, Macintosh)を1台ずつ用意します。Windowsにはパワーポイント2013が、Macintoshにはパワーポイント2011がインストールしてあります。口頭発表される方はファイルの入ったCDもしくはUSBメモリを持参下さい。持参いただくメディアおよびファイルにつきましては、ウィルス対策ソフトの最新定義で事前にチェックを頂きますようお願い致します。ファイルは遅くとも講演前の休憩時間までに会場のPCに直接コピーして下さい。心配な方はご自分のパソコンを持参下さい。

<ポスター発表>

*ポスターは5日と6日の2日間に渡って掲示することができます。ポスター1件あたりの展示可能スペースは縦180cm×横120cm(縦長)です。画鋲は会場にも用意してあります。ポスターには、必ずポスター番号を記入して下さい。はぎ取りなど重量物の展示を希望される方は、事前に行事委員会までお知らせください。

*ポスター発表のショートトークは1人2分以内でお願いします。液晶プロジェクターを使用して発表する場合、使用するスライドはタイトルスライド以外に1枚でお願いします。なお講演

を円滑に進めるために、用意して頂いたスライドはあらかじめこちらで1つのファイルにとりまとめます。

<写真・ビデオ撮影の制限>

*本大会における全ての講演の様子や内容について（口頭発表・ポスター発表など）、発表者に無断で写真撮影・ビデオ撮影することを禁止します。撮影には発表者の許可が必要です。また、それらを発表者の許可なく SNS 等で配信することを禁止します。